



探究科3年次の生物2班が、高崎健康福祉大学高校生自由研究コンテストに出品！

探究科

探究科3年次の生物2班が、昨年度の発展探究の授業で取り組んだ課題研究の成果を高崎健康福祉大学高校生自由研究コンテスト2024に出品しました。このたびのコンテストには、環境や化学、生物、生産に関わる研究をまとめたポスターが、全国の高等学校から51作品出品されていました。

本校から出品した生物2班の研究テーマは、「身近な細菌を用いた生ごみの効率的な分解に関する研究」で、施設で焼却処理される生ごみを削減することを目的として研究を進めてきました。研究では、生ごみを処理するためのコンポストをつくり、身近な細菌である乳酸菌や納豆菌、酵母などを野菜に加えて、分解される様子を観察しました。ヤクルトに含まれている乳酸菌や市販の納豆から採取した納豆菌を使用するなど、家庭でも実践できる方法を考えて実験しました。さらに、それぞれのコンポストに米ぬかを加えたところ、分解が促進されることがわかりました。

残念ながら入賞には届きませんでしたが、出品したポスターは、10月19日(土)・20日(日)に開催された高崎健康福祉大学の大学祭である藤龍祭で展示され、多くの方々に研究成果を披露することができました。



高校生自由研究コンテストに出品した生物2班

論理国語の授業において、地理歴史科とのユニットカリキュラムを実施しました。

探究科

人文社会科学科3年5組の論理国語の授業において、9月13日(金)に地理歴史科の教員とのユニットカリキュラムを実施しました。

国語科で扱う評論文は、現代社会の諸問題について、近代までさかのぼって論じられていることが多く、そのような文章を読解する際には、時代の変遷の中で変化してきた人々の思想や社会構造についての知識が助けとなります。

そこで、このたびの授業では、地理歴史科の教員を迎えて、古代から現代までの歴史の流れとその特徴についての学習を行い、神が世界を創造・支配すると考える「神中心主義」の社会であった古代・中世の時代から、神に代わって人間の理性を世界の中心とする「人間中心主義」の社会へと大きく変化した近代においては、科学至上主義や資本主義等の考え方が生まれるとともに、国家が大衆を管理するためにイデオロギーの統制や排除が行われ、近代の特徴が「均質化」であるのに対して、私たちが生きている現代(ポストモダン)社会の特徴は「多様性」である、といった内容について学びました。

次の時間からは、教科書に収録されている評論文(「ポストモダンと排除社会」東浩紀)の読解に取り組み、文章の内容を、このたびのユニットカリキュラムで学んだ歴史的な知識を踏まえて理解していききました。

授業の後に生徒が記述した感想には、「近代の世界史を理解することが、評論文の理解を深めることに気付いた。」や「評論は、いろいろな教科と関りがあるので面白いと思った。」などの感想がありました。普段から、様々な教科に興味をもち、関連を考えながら学ぶことを目指してください。



古代から現代までの歴史の流れを学ぶ

多様な分野の大学の先生方をお迎えし、出前講義を実施しました。

普通科

探究科

大学の先生方を本校にお迎えし、普段の授業や研究活動の様子等についてお話しいただく出前講義を10月16日(水)に、開催しました。当日は、11人の先生方が来校され、2年次生全員が、表に示した講座の中から2つを選択して聴講しました。それぞれの講座では、講師を務めていただいた先生方の研究を御紹介いただくとともに、それぞれの分野では、何をどのように学び、そこで身に付けた力が将来どのように生かせるのか説明していただきました。

経済・商・経営学の講座では、「海外に比べ、日本の小・中・高等学校において金融教育にかける時間は少ないため、金融に関わる話題は、身近ではないかもしれない。しかし、金融は、生きていくうえで欠くことのできないものであるので、一人ひとりが意識して学ぶことが大切である。」と述べられました。また、薬学の講座では、「薬を創るためには、その症状が生じる原因を考えることが大切である。新薬は、痛みや発熱など表面的な症状を抑えるためだけに開発するのではなく、その症状が生じる原因を突き止めるところから始めて、治療する方法を見つけ出さなければならない。」と説明されました。

出前講義が終了したのちに受講した生徒が記した感想には、「医学部に入学するためには成績も大切だが、人の命を救う医師にあこがれていたことを忘れずに目指し続けてほしいと述べられたことが印象に残った。」や「データマイニングのお話を聞き、データは決められた通りに解析するだけでなく、物事を判断するためにデータをどういう視点で見たらよいのか考えることに力を注がなければならないことがわかった。」などがありました。大学は、講義を受けて学ぶこともありますが、それ以上に研究して自らの力で課題解決に挑戦することが求められます。このたび御講義いただいた先生方のお話を参考にして、みなさん一人ひとりが、将来の夢の実現に向けて、主体的に進路を選択してくれることを期待します。

表 出前講義で開講した講座と御担当いただいた大学の先生方や講座のテーマ

講座	所属等	職	氏名
テーマ			
外国語文学	山口大学国際総合学部国際総合学科	准教授	山本 冨里
外国語学	ことばの葉っぱを茂らせる～多様で魅惑的な言語の世界へ～		
教育学	山口大学教職大学院	准教授	藤上 真弓
	これからの教員に求められること		
経済・商・経営学	山口大学経済学部経営管理講座	教授	兵藤 隆
	お金の話		
心理学	東亜大学大学院臨床心理学専攻	准教授	藤元 慎太郎
	心理学(臨床心理学)について		
生物学	山口大学大学院創成科学研究科(理学系学域)	准教授	上野 秀一
	生物の体の作り方と細胞の中身の変化		
医学	山口大学大学院医学系研究科(医学専攻)	准教授	木田 裕之
	医学部に入りたい君に僕が伝えたいこと		
看護学	山口大学大学院医学系研究科(保健学専攻)	講師	江藤 亜矢子
	ケアリングと自分らしく生きること		
薬学	山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部薬学科	講師	堀江 一郎
	薬理学ってなに?		
機械・情報・電子工学	九州工業大学大学院情報工学研究院知的システム工学研究系	教授	檜原 弘之
	情報と機械が生み出す第4次産業革命の世界～身近な情報工学、医療・ロボット開発で活躍する先端機械&情報工技術～		
情報工学	九州大学大学院工学研究院システム情報科学研究院情報知能工学部門	准教授	峯 恒憲
	データの解析とそこから導かれる予測		
農学	九州大学大学院農学研究院	教授	沖野 望
	マリバイオテクノロジについて学ぼう～海洋資源の有効利用に向けた取り組み～		



経済・商・経営学



心理学



生物学



医学

それぞれの先生方の講義を聴講する2年次生

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。